

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	IPPOプログラミング 長田校		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性やニーズに応じた個別支援計画を作成し、きめ細やかなサポートを提供している。	職員が定期的に研修を受け、支援の質の向上に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・計画の内容が実際の支援とズレていないか、職員同士で共有し、日々の支援内容や子どもの様子をこまめに共有する。 ・職員が自主的に学べるオンライン研修の導入。
2	施設の設備管理や衛生面の配慮が行き届いており、子どもが安心して過ごせる環境が整っている。	事故防止マニュアルや緊急事態対応マニュアルが整備されており、安全確保のための訓練が実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・静かで落ち着けるリラクソコーナーの設置や、照明や音の調整等の環境の整備を行なう。 ・職員の負担軽減のための仕組み（シフト調整、チーム支援体制、定期的な面談やフィードバックの場を設け、職員が働きやすい環境を作る。）を整える。

3	保護者や子ども達の意見を積極的に取り入れ、支援内容の改善に役立っている。	定期的な面談や報告を通じて、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の興味・希望を尊重した支援計画の作成（アンケートやヒアリングの実施） ・活動の選択肢を増やし、子供が自ら選べる機会の提供。 ・子ども自身が成長を実感できるプログラムの工夫。
---	--------------------------------------	---------------------------------------	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）との連携の機会が少ない。	事業所内での事故や怪我がなく協力医療機関に受診する機会がなかった為、協力医療機関や地域の病院等での連携を図れていなかった。	病院等へ訪問し、情報共有の機会を増やしていく必要がある。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会が少ない。	家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の為に会議等の実施ができていない。	従業員のペアレント・トレーニング等の知識向上と支援プログラムや研修会を行い、家族支援プログラムができる環境を整える必要がある。
3	職員の業務負担と人員配置の課題。	職員の配置は基準を満たしているが、利用者の増加に伴い負担が増えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・事務業務をサポート職員に一部委託し、支援職員が子供と向き合う時間を増やす。 ・支援記録をデジタル化し、手書き業務の削減する。 ・定期的な職員ミーティングを実施し、業務負担についての意見を吸い上げるなど、働きやすい環境づくりを整える。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		IPPOプログラミング 長田校				公表日	2025年 3月 3日	
		利用児童数				39名	回収数	27枚
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	0	0	0	個室もくつろげる空間も勉強やプログラムにも最適。 子どもたちの定員数に対して適切な職員の方が配置されている。	現状のスペースは概ね適切と評価を頂きましたが、常に安全に配慮される事が望ましい為、レイアウトの見直しや最適化を検討しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24	1	0	2	細やかに対応して頂いている。 子どもたちに手厚い見守りができるようにしてほしい。	現在の配置は基準を満たしていると評価を頂きましたが、利用者の増加やニーズに応じて、見直しや最適化を検討しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	0	0	3	分かりやすく過ごしやすいようにしている。	設備の点検と改修を定期的実施し、バリアフリー化の推進や利用者の意見を取り入れた構造化を検討しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	0	0	0	明るく清潔だと思う。	利用者の意見を収集し、清掃を日常的におこない清潔で心地よい環境を維持しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	0	0	0	性格・好みに合わせたアプローチをしてくださっている。 本人が興味があること、好奇心を持っていることに対して、把握してもらい、喜ぶ内容の支援を実施してもらっています。	こどもの特性を理解した支援を実施する為に専門知識を深める為の研修を定期開催し、個別支援計画書の精度向上や支援方法の多様化を検討しています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	0	0	3	プログラムと内容は合っている。	定期的カンファレンスを開催。支援内容の見直しや利用者の意見を収集し、整合性を確保する仕組みを強化しています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	0	0	0	作成されていると思う。	ニーズを考慮し個別支援計画書を作成していますが、保護者との意見交換を増やし、作成プロセスにおいて客観的な分析を強化しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	0	0	4	設定されていると思う。	放課後等デイサービスガイドラインに沿って具体的な支援内容を反映していますが、利用者の意見を取り入れ、個々に応じた内容を設定しています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	0	0	1	行われている。	定期的カンファレンスを開催し、計画と支援内容の見直しを行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	1	0	0	毎月様々な内容がある。	利用者の意見を取り入れ、柔軟性に考慮した活動プログラムを検討しており、興味や関心を引き出す新しい活動を導入しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	12	1	3	11	参加する曜日ではない。（他曜日では実施されている）	地域のこども達との活動の機会は限定的ですが、事業所として地域の祭りに出店し交流の機会を創出しています。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27	0	0	0	最初に説明があった。 利用の際には、分かりやすい対応があり支援プログラムに対しても丁寧な説明を受けました。	利用開始前には丁寧な説明が必要と考えている為、細部までの説明や相談の機会を設けています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	0	0	1	日頃から子どもの状況について共通理解してもらっています。	こどもの特性を理解した支援を実施する為に、保護者へ個別説明の機会を増やしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	5	11	ぜひ研修会してほしいです。	家族も参加しやすい研修会や情報交換の場を定期的開催し、支援の充実を図る場の提供を検討しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	1	1	0	毎回フィードバックを細かくして頂いている。	日々の連絡や個別面談を通じて情報共有を行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	2	0	4	毎回フィードバックを細かくして頂いている。	保護者との意見交換を充実させ、発達面や受験・進学等に関する相談の機会を設け協力機関との連携を強化します。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	1	0	いつも快い声かけをしてくださっている。	利用者や保護者の気持ちに寄り添った対応を行う為に、職員の対応力を向上させる社内研修を開催しています。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	3	4	15	開催されているが参加したことがない。 参観&交流会してほしいです。	保護者会や情報交換の機会を提供し、兄妹向けのイベントを計画し、家族全体で支援を受けられる環境を整えます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	1	0	1	対応されている。	利用開始後も相談窓口の周知を行っています。相談があった際の対応を迅速に行い、適切な対応を徹底しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0	LINEや電話対応で配慮されている。	様々なニーズに考慮し、連絡方法の多様化の強化を行っています。柔軟な情報伝達手段を導入し、スムーズな対応を心掛けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	0	0	1		HPやSNS (Instagram、YOUTUBE) を活用し、活動内容等を分かりやすく工夫し発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27	0	0	0		社内研修を行い、個人情報管理の厳格化を徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1	0	7		マニュアルの定期的な見直しを行い、保護者説明会の開催や、定期開催されている訓練後のフィードバックを行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	10		非常災害の発生を想定した、定期的な訓練や備蓄の確保・見直しを行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1	0	5		安全計画の内容を保護者へ説明し、面談や資料配布等を通じて周知しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	3	0	3		体調不良等が発生した際は、速やかにバイタルチェックを行った後に、電話で保護者に連絡をしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	27	0	0	0	毎週会えるお友達や先生に心を開いています。 時々通所することを嫌がることありますが、通所して帰宅した時には気持ちも高揚しており、事務所に行くことで満足出来ています。	リラックスできる空間の整備や、日常的にコミュニケーションの場を提供しています。利用者へ面談を行い、本人中心支援を軸とする活動を提供しています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	0	0	0	毎回のプログラムを楽しみにしてギリギリまで居たいようです。 とても楽しみにして通わせてもらっています。	個々の関心や興味に合わせたプログラムの導入や自由時間を充実させた提案等の工夫を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27	0	0	0	いつも細やかに対応して頂き大変満足しています。 とても満足しています。	支援の質の向上を図る為に、個別支援の精度を高め、新たな支援プログラムの導入を取り入れています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		IPPOプログラミング 長田校		公表日		2025年 3月 3日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指定基準に則った広さを確保し、安全面への配慮に努めている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		活動の種類に応じて、職員の配置を調整し、子ども一人ひとりに目が行き届くよう工夫している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		児童に合わせて対面で話し合うシーンが多く見られる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		「活動のしやすさ」「安全性」を考慮して、常に清潔に保っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		相談室や勉強部屋を活用し、保護者や児童へも説明している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		毎日ミーティングを行い、他事業所と連携して会議や研修等行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		保護者からのご意見を元にカリキュラムの改善やイベントの実施など行っており、疑問点などは適宜返答している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		月一の管理者面談を実施している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	第三者委員会の設置はないが、法人内で情報共有を随時行い、偏った情報で運営されないよう工夫をしている。	今後は、第三者委員会の設置を検討し、今以上に風通しのよい事業所運営に努める。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月一で社内研修をおこなっている。		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		児童の意見を取り入れながら実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		契約前にアセスメントを実施し、ニーズや課題の把握に努めており、更新時には保護者の意見傾聴して作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		日頃の児童の様子は、朝会やカンファレンスで話し合い、計画書や専門的実施計画書へ反映している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		サービス担当者会議で職員全員の意見を聞き、個別支援計画書に沿った支援を実施している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		終業後に活動の記録を作成し、カンファレンスを行っている。話された内容は、法人内で情報共有を随時行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		保護者や児童にヒヤリングを行ない、個別に必要な支援内容も踏まえながら具体的な支援内容を設定している。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		活動プログラムの立案をチームで話し合い、共通認識でプログラム実施ができるように工夫している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		イベントなどの児童の意見をなるべく取り入れ、児童主体で楽しんでもらえるように実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童により専門職が個別に療育を行なう機会がある。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝会で前日や当日の活動内容や役割等の確認し、支援内容の変更案等についても話し合い、チームで連携して支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		毎日終礼を行い、当日の支援内容の振り返りや学校や保護者の方からの情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		業務日報を作成し、日々の記録をとっている。必要に応じて職員会議を行い、支援内容の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しをおこなっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇の提供」について、安全面に留意しながら複数の活動を組み合わせて実施している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5		児童と話し合い、療育やイベントなどで反映できるように心がけている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		日頃から各児童の情報共有に努め、関係機関等との会議については、管理者および児童発達支援管理責任者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	協力医療機関の設定や関係機関との連携フローについて作成し、常に連携できる体制を整えている。	関係機関と連携をとる機会を増やし、迅速に対応できる体制をつくる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校から年間計画や行事等の配布物を保護者から受け取り、下校時刻を把握している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	児童発達支援事業所と連携を図っており、情報を共有し相互理解に努めている。	児童発達支援だけでなく、保育所や幼稚園等との連携を増やしていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、支援内容等の情報を提供している。	学校を卒業し福祉サービス事業所等へ移行する場合は必要に応じて、支援内容などの情報共有を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	地域の児童発達支援センターとの連携は図ることができていないが、事業所内での研修を受ける機会を確保している。	今後児童発達支援センター等との連携を行う機会を設ける。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	地域のイベント（スポーツや祭り）に参加している。児童館の職員と柔軟にコミュニケーションを図っている。	放課後児童クラブや児童館との交流の必要性について会議を行い、必要に応じて交流できる機会の検討を行う。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		自立支援協議会に参加し、スキルアップの機会を設ける。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時等に保護者と情報共有を行い、共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	送迎時や電話連絡の際に、会話での説明を行っている。	家族に対してペアレント・トレーニングや家族等の参加できる研修の機会を設ける。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学体験や契約時に支援プログラム、運営規程や利用者負担額の説明を行っている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		児童や家族の意向を確認する機会を設け、活動プログラムへ反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		計画を作成した際には、児童発達支援管理責任者が直接保護者の方に説明を行い、署名による同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		相談があった際は保護者の方の意思を傾聴している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	個別療育プログラムでは、少数の保護者と児童の交流の場を提供していた。	父母の会や保護者会等の開催について協議し機会を設ける。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情窓口を通して、保護者の方からのご意見をいただき、迅速に改善策を講じている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		定期的に、Instagramやホームページを更新し活動の様子を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の処分にはシュレッダーを使用するなど、個人情報を持ち出さないように徹底している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		意思疎通について、視覚ボードを用いたり落ち着いて話せる時間の確保に努め、送迎時や電話で活動の様子について保護者の方へお伝えしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		地域のイベントに積極的に参加し、近隣の農園での他者との交流をおこなっている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		マニュアルを作成し、職員間で周知し、定期的な研修や訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		非常災害用、感染症対策用の2種類の業務継続計画（BCP）を作成し、定期的な研修・訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		見学体験時に確認している。当日の児童の様子を確認し、保護者と職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者からの情報（医師からの指示）を職員で共有・対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		安全計画を作成し、必要な研修・訓練・見直しを行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		緊急避難先等の情報共有を行い、避難訓練等の自衛消防訓練を行った際は、保護者の方へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		過去の事例の状況を再周知し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修および虐待防止委員会を定期的に開催し、必要な知識の習得や情報共有に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		身体拘束適正化について、研修および委員会を設置し、共通認識を図っている。		